

福井の伝統的民家活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県、市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H17 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助								経過年数	19 年		
補助率	1/2等											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[4 安心を高める(地域力)]				関連する県の計画等		[]				
[解決すべき問題・課題] 伝統的民家の価値を所有者自身が知らない、住み続けるには改修費用が大きく取り壊しが進行。また、観光客や移住者を呼び込む、福井らしい、地域の歴史・個性を生かしたまちづくりのためにも、伝統的民家の保存による美しい集落や町並み景観の維持・保全への継続した支援が必要						[問題・課題を表す客観的データ] ・ 県内の伝統的民家数約5,400棟 ・ 北国街道今庄宿 (H23推進地区指定、13件の伝統的民家改修支援) が、令和3年度、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定						
[事業目的] 福井の伝統的民家の保存および活用を推進し、市町が実施する伝統的民家や蔵などが集積する街並み景観の保全・活用に資する事業を支援することにより集落景観のレベルアップを図り、地域の個性に合った街並みづくりを推進する。												
[事業内容] (1) 伝統的民家群保存活用推進地区(以下、推進地区)内での景観づくりに対する補助 ① 伝統的民家の新築: 外観の工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内(限度額800千円) ② 伝統的民家や土蔵、門、塀の改修: 外観、構造体の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内(限度額1,500千円) ③ 一般建造物の修景: 外観を街並みに調和させる工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内(限度額1,000千円) ④ 伝統的民家の空き家の活用: 地域活性化に資する施設に改修するための、外観、構造体および内部の改修工事を実施または補助する市町に対し、交流施設、文化施設、体験学習施設の場合、市町事業費または補助額の1/2以内(限度額3,000千円)、民間事業施設の場合、市町事業費または補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内(限度額3,000千円) ⑤ 景観づくり活動: 街並みを活かした景観保全・景観づくり活動に補助する市町に対し、市町補助額の10/10(限度額200千円 地区指定後2年間のみ) (2) ふくい棟梁講座(伝統工法の実技実習および講習)の支援(一社)福井県建築組合連合会 対象経費の1/2以内(限度額500千円) (3) 福井の伝統的民家認定表札加工および普及PRリーフレット作成 (4) 福井の伝統的民家の普及啓発活動(日常の維持管理に関する講習会の開催)												
[受益者] 伝統的民家所有者等						[想定される受益者数] 約5,400棟(県内の伝統的民家数)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 福井の歴史的建造物保存促進事業 他 (役割分担) ・ 福井の歴史的建造物保存促進事業 福井の歴史的建造物の改修等に対する支援 ・ 重要伝統的建造物群保存地区整備事業 重要伝統的建造物群保存地区に選定された地区内の建造物整備に対する支援 ・ 指定文化財保存修理等補助金 指定文化財の修理に対する支援				
市町との連携状況	・ 市町が改修等を希望する所有者から申請を受ける ・ 県は、伝統的民家の改修等を支援する市町に対し補助を実施					他県の状況						

福井の伝統的民家活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1/2等													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	18,802					18,802								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		23,790	23,390	21,190	18,802	18,802								
2月現計予算額の推移		13,010	17,334	12,860	10,102									
決算額の推移		12,508	16,750	12,104										
前年度までの 主な増減理由	伝統的民家の改修等の件数は年々減少傾向にあり、過去実績、市町要望に合わせて予算を減額													
[成果指標等の推移]														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	改修事業件数	(目標) (22)	(22)	(20)	(18)	(16)	(16)	(16)	16件/年の改修（市町要望および近年の改修実績による）					
		実績 15	24	15										
活動指標	推進地区指定数	(目標) (2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	2地区/年の指定					
		実績 2	2	2										
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度、伝統的民家改修等を15件支援（R3より推進地区外への支援を廃止。その駆け込み需要によりR2が増加したことによる減） ・ 令和3年度、伝統的民家群保存活用推進地区を2地区指定 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

福井の歴史的建造物保存促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H17 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助			事業 経過 年数					19 年			
補助率	1/2等											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [15 ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 地域の風景を維持し、観光客や移住者を呼び込む、地域の歴史・個性を生かしたまちづくりのためには、地域の核となる歴史的建造物を保存・活用することが必要						[問題・課題を表す客観的データ] 県内の歴史的建造物 485棟(福井の歴史的建造物)						
[事業目的] 市町が実施する歴史的建造物の改修補助事業に対し支援を行い、歴史的建造物の保存およびまちづくりへの活用を促進する。												
[事業内容] (1) 歴史的建造物のうち登録有形文化財建造物 外観および公開範囲の内装に関わる部位の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費から国費補助相当額を差し引いた額の1/2以内(補助限度額1,500千円)を補助 (2) 上記以外の歴史的建造物(指定文化財を除く) 外観の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内(補助限度額1,500千円)を補助 【福井の歴史的建造物とは】 (平成16年度に1,915件の建造物を調査し、内485件を「福井の歴史的建造物」として紹介) 原則として第二次世界大戦終結時まで建造され、下記の①～④のいずれかに該当するもので、県が歴史的建造物等活用推進会議の意見を踏まえ、ふるさとの象徴として保存継承していく価値があると認める建造物。ただし、指定文化財を除く。 ①地域の歴史を象徴するもの ②建築文化や生活文化を継承するもの ③民俗学的に価値のあるもの ④街並みおよび景観の整備に貢献するもの												
[受益者] 歴史的建造物所有者(管理者)						[想定される受益者数] 485棟(福井の歴史的建造物)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井の伝統的民家活用推進事業 他 (役割分担) <small>・福井の伝統的民家活用推進事業 福井の伝統的民家の改修等及び景観づくり活動に対する支援 ・重要伝統的建造物群保存地区整備事業 重要伝統的建造物群保存地区に選定された地区内の建造物整備に対する支援 ・指定文化財保存修理等補助金 指定文化財の修理に対する支援</small>					
市町との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市町が改修等を希望する所有者から申請を受ける ・県は、歴史的建造物の改修等を支援する市町に対し補助を実施 					他県の状況	石川県、富山県はなし [佐賀県] 佐賀県遺産支援事業 佐賀県遺産に認定された建造物の外観保全に対し、対象経費1/2を補助(5,000千円限度)					

福井の歴史的建造物保存促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1/2等													
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,500						2,500							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		3,058	3,058	2,500	2,500	2,500								
2月現計予算額の推移		283	58	1,000	1,500									
決算額の推移		259	34	822										
前年度までの 主な増減理由	市町の要望による													
[成果指標等の推移]														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	改修等事業件数	(目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	2件/年の改修					
		実績	1	0	1									
活動指標	補助事業者数	(目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	2件市町/年の改修					
		実績	1	0	1									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
・改修実績1件 (R3) 計画見直しによる市町事業の延期								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

福井ふるさと百景活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県、市町、景観づくり活動団体				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10、1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[4 安心を高める(地域力)]				関連する県の計画等		[]				
[解決すべき問題・課題] 福井には美しい景観が数多くあるが、それらを守っていく地域の担い手不足や資金不足等で、景観づくりが低迷している。また、景観を眺望する視点場の数も少ない。						[問題・課題を表す客観的データ] ・景観保全活動団体数 62団体 ・視点場整備数 20箇所(とやま眺望点:30箇所)						
[事業目的] 福井の美しい景観を守り伝えていくために、「福井ふるさと百景」を活用し、地域団体が進める景観づくり活動を支援するなど、地域とともに景観づくりを推進する。												
[事業内容] (1) 景観づくり活動団体に対する補助 ・百景選定地におけるふるさと景観を守り育てていく景観づくり活動団体を支援する市町に対し補助 【補助率】10/10(補助上限額 200千円/年) 【事業期間】2年間 【補助対象】地域団体: 6団体 (2) ふるさと福井景観づくり懇談会の開催 ・学識経験者、県民代表等で組織する「ふるさと福井景観づくり懇談会」を開催												
[受益者] 県内外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井ふるさと広域景観形成事業 (役割分担) ・福井ふるさと広域景観形成事業 豊かな自然や歴史、文化等、特徴ある福井らしい景観資源が集積し、優先的な景観施策の実施が望まれる6つの景観軸において、市町が行う景観形成を支援					
市町との連携状況	活動団体は市町に申請を行い、県は市町を通じて補助を実施				他県の状況		<input type="checkbox"/> 普及・啓発 石川県・・・いしかわ景観大賞、俳句大会、景観教室、絵画コンクール、白山眺望スポットガイド作成、いしかわ景観づくりガイドブック作成 富山県・・・景観づくりフォーラムの開催、うるおい環境とやま賞、「ふるさと眺望点」の指定 <input type="checkbox"/> 審査会等 石川県、富山県・・・景観審議会を設置					

福井ふるさと百景活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県、市町、景観づくり活動団体				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	10/10、1/2													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,395					1,395								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		4,690	3,606	3,120	3,627	1,395	ガイドブック販売委託およびフォトコンテストの終了による減額							
2月現計予算額の推移		4,690	2,139	2,850	2,627									
決算額の推移		4,526	1,698	1,698										
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・R元年度は、ガイドブック改訂による増額 ・R2年度は、景観セミナー休止による減額 ・R4年度は、フォトコンテスト実施による増額 												
[成果指標等の推移]														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	新たな景観づくり活動に 取り組む団体数	(4) 実績 3	(4) 4	(4) 3	(4) 3	-	-	-						
	ビューポイント整備箇所 数	(0) 実績 0	(1) 0	(1) 1	(1) 1	-	-	-						
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる影響で景観づくりに取り組む団体が活動を自粛していたため目標未達成 				<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブック販売委託およびフォトコンテストの終了 ・活動団体認定の終了 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,232			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

景観まちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H28 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助			経過年数					8 年			
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [15 ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業にあたって、福井の美しい風景を景観資源として、開業後も継続して福井の景観のレベルアップを図り、観光客の満足度を高め、にぎわいづくりを図っていく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] じゃらん宿泊旅行調査2022において、宿泊旅行の目的として、「花見や紅葉などの自然景観」が回答者の5.4%（全国平均9.8%）、「まちあるき、都市散策」が9.1%（全国平均18.9%）と、風景や景観が観光資源となりえていない。						
[事業目的] 新幹線開業にあたって、県全体の美しい風景を維持・向上させ、景観づくりを通じたにぎわい形成など、観光の魅力を向上させるために、市町が実施する景観形成施策への支援や、魅力ある景観のPR等を行い、地域の特徴を生かした景観まちづくりを推進する。												
[事業内容] ○重要文化的景観保存活用推進事業 「越前海岸の水仙畑の文化的景観」について、各市町および福井市・越前町・南越前町が主体の協議会が実施する景観向上事業や魅力発信事業を支援 (補助率：対象経費から国庫補助相当額を差し引いた額の1/2)												
[受益者] 県内外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井ふるさと百景活用推進事業 (役割分担) 福井ふるさと百景選定地の景観を地域の力で守り育てていく景観 づくり活動団体等を支援				
市町との連携状況	県と構成市町が内容等を協議し、事業を推進					他県の状況						

景観まちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,223				1,223							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		16,726	32,176	14,065	26,624	1,223	「福井ふるさと広域景観形成事業（～R4）」からの整理による減					
2月現計予算額の推移		14,901	21,476	11,265	26,624							
決算額の推移		14,448	20,647	11,126								
前年度までの 主な増減理由	※R元～4は「福井ふるさと広域景観形成事業」の予算額推移											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	協議会事業件数 (目標) 実績					(3)			連携協議会での魅力発信、景観向上事業 (令和5年度から新たな目標を設定)			
活動指標	整備計画の策定 (目標) 実績					(1)			市町整備計画の策定 (令和5年度から新たな目標を設定)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・連携協議会において3事業を実施（ローカルフォトプロジェクト、映像制作、景観の守り人育成）				・「福井ふるさと広域景観形成事業（～R4）」から整理による減				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額 25,401	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

大河ドラマ等を活用した情報発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営													
補助率														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(想像力) 政策 [10 新幹線開業効果を最大限				関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題] 大河ドラマの関連人物について、福井県とゆかりの認知度を高める						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数(実績) : 12,356人(R3)								
[事業目的] 2024年の大河ドラマ「光る君へ」の放送前の段階から本県との関係性、ゆかりの地を発信することにより、北陸新幹線の開業効果を最大限高める。														
[事業内容] ゆかりの地を巡るリーフレット制作 紫式部、安倍晴明のゆかりの地や、平安時代の福井を紹介。														
[受益者] 県内外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 (実績) R2年度: 大河ドラマ「麒麟がくる」情報発信事業 R3年度: 大河ドラマ「青天を衝け」情報発信事業					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 同事業(ブランド課) (役割分担) PR関係はブランド課で実施							
市町との連携状況	県と構成市町が内容等を協議し、事業を推進					他県の状況								

大河ドラマ等を活用した情報発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率									<input type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,648					1,648							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					0	1,648							
2月現計予算額の推移					3,584								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	県内外の観光客数 (目標) 実績				(13,000)	(13,000)			直近の福井県観光客入込数(実数)を超えることを目指す				
活動指標	リーフレット配布数 (目標) 実績				(30,000)	(50,000)							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
・作成したリーフレット30,000部を県内観光施設等に配布								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

福井の方言利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度		
事業実施方法	直営													
補助率														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (想像力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
福井特有の文化の一つである福井の方言が、若い世代ではあまり使われなくなっている。						方言の好感度 福井県：20%、石川県：47%、富山県：30% 観光客が感じる地元のホスピタリティ 福井県45位								
[事業目的]														
県民が福井の方言に対する愛着を深め、方言の利用促進・全国発信をすることにより、北陸新幹線の開業時のおもてなし機運醸成につなげます。														
[事業内容]														
(1) 映画「福井のおと (仮称)」完成記念試写会の開催 映画撮影地 (県内5か所) において、完成記念試写会を開催														
(2) 福井の方言発信ツールの作成 県外観光客が方言の簡単な会話ができるような方言ガイドブックを作成														
[受益者] 県内外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線開業に向けたふくいブーム創出事業 (ブランド課) (実績) 映画製作、方言デザインコンペ開催、高校生による方言辞典制作等					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

福井の方言利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営												
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	6,121					6,121							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移						6,121							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	映画上映館数 (目標) 実績					-		(5)	都市等の映画館での上映館数 (累計)				
活動指標	映画祭出品数 (目標) 実績					-		(5)	国内外映画祭への出品数 (累計)				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
・県内各地において、方言を用いた映画の撮影を実施								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

ふくい県民総合文化祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子				
事業主体	県内芸術文化活動団体				事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 18 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	補助												□ 法定受託事務	■ 補助金	□ その他
補助率	1/2														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題] 芸術文化活動に取り組む団体の高齢化が進み、後継者がいないため活動休止となる団体が増加、県民が芸術文化活動に参加し、ふくいの芸術文化活動の継承と芸術文化の発展につなげるため、参加型の芸術文化フェスティバルを開催する芸術文化団体の活動を支援する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数（内閣府） 9.1件／人口（45位／47都道府県）									
[事業目的] 県民一人ひとりの積極的な参加により、多様な文化の発表、活動、交流、観賞を行う「参加型」のフェスティバルを県内各地で開催し、多くの県民に身近にふくいの芸術文化に親しむ機会を提供する。さらにふくいの文化を全国に発信し交流を促進するため、国民文化祭への参加を支援する。															
[事業内容] 1 「ふくい県民総合文化祭」の開催 ・「メインフェスティバル」の開催 「福井県総合美術展」および「福井県音楽コンクール」の開催を支援 【補助金】上限 1,500千円／団体、補助率 1/2 ・「ふれあいフェスティバル」の開催 県域で活動する団体が行う発表、活動、交流、鑑賞を実施に要する事業費を支援 【補助金】上限 500千円／団体、補助率 1/2 【要件】各会場では、多くの県民が気軽に参加できる「体験コーナー」を設置 2 国民文化祭への参加支援 【補助金】上限 150千円／団体（交通費7千円／人）、補助率 1/2															
[受益者] 芸術文化活動団体および各種分野の発表会、体験教室に参加する県民						[想定される受益者数] 12,899人（令和3年度実績）									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 芸術団体文化活動活性化事業 (役割分担) ・芸術団体文化活動活性化事業 (一社) 福井県文化協議会とその会員団体が共催する事業への補助								
市町との連携状況					他県の状況		【石川県】 ・文化活動支援事業（いしかわ県民文化振興基金） 文化活動団体への助成 【富山県】 ・富山県芸術文化振興基金事業 文化活動団体への助成								

ふくい県民総合文化祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県内芸術文化活動団体				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 18 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,500				7,500							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		9,000	8,100	8,100	7,500	7,500	国民文化祭への参加を支援 150千円/団体（交通費7千円/人 補助率1/2）					
2月現計予算額の推移		9,000	3,092	6,886	7,262							
決算額の推移		9,330	2,728	6,258								
前年度までの 主な増減理由	平成30年度 令和元年度に補助事業実施団体数の見直し 令和 4年度 新型コロナ対策経費補助の減（50,000円×12団体）											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	参加人数（観客者数含む）	(目標) (26,000) 実績 25,946	(26,000) 5,517	(26,000) 12,899	(26,000)	(26,000)	(26,000)	(26,000)	ふれあいフェスティバル参加人数26,000人			
活動指標	助成団体数	(目標) (23) 実績 25	(23) 13	(23) 20	(23)	(23)	(23)	(23)	助成23団体/年			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
コロナ禍での事業実施となり、一部事業を見送る団体もあったが、令和2年度と比較すると感染対策を講じて事業を実施し、活動を継続する団体が増えた。				<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、文化団体への支援を通して、県民が文化活動に親しむ機会を提供する ・国民文化祭への参加を支援する 150千円/団体（交通費7千円/人 補助率1/2） 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

まちかど幸福ピアノ設置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 街の中に芸術文化に触れる空間が少なく、文化活動の練習や発表の場を創出することが必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的] 学校等で使われなくなったピアノを、えちぜん鉄道福井駅待合室に、誰でも、自由に、いつでも弾くことができる「まちかど幸福ピアノ」として設置し、演奏者も聴く人も駅に降り立った瞬間から文化の香りを実感できるような空間を創出する。												
[事業内容] ピアノの維持管理 ・ 調律(夏、冬) ・ 外装クリーニング												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 約5,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名						
市町との連携状況						他県の状況						
						関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)					

まちかど幸福ピアノ設置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開 始 年 度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	224				224							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			506	254	254	224	消耗品費の縮減					
2月現計予算額の推移			506	254	254							
決算額の推移			112	34								
前年度までの 主な増減理由	R3 ピアノ1台分の管理費へ減											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ピアノの利用日数 (目標)		(365)	(365)	(365)	(365)	(365)	(365)	1日1回以上利用されることを目標			
	実績		365	365								
活動指標	ピアノの調律回数 (目標)		(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	夏と冬にピアノの調律を実施			
	実績		2	2								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数：約15人/日 ・毎日ピアノの利用があり、リピーターも出てきている。 				<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業と連携し、ピアノに装飾を行うなど、まちかどピアノがより利用されるよう工夫していく 				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	30	
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

みんなのまちなかステージ設置支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 街の中に芸術文化に触れる空間が少なく、文化活動の練習や発表の場を創出することが必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的] まちなかで誰もが芸術文化活動を発表できる簡易なステージを開放する民間の活動を支援し、気軽に芸術文化に触れる機会を増やす。												
[事業内容] (1) まちなかステージ設置・運営に対する支援 音楽やダンス、演劇、アートなど、様々なジャンルの芸術文化活動発表のため、学生、プロ・アマ問わず、誰もが利用できる「まちなかステージ」の設置を支援 <利用方法等> ・事前登録・申込制 ・利用無料 ・内容が芸術文化振興に資すること(営業行為を除く) <設置場所> ・R3 福井市:アップルロード(毎日曜)、西武福井店本館1階 正面入口前(毎土曜)、ハピテラス(毎木曜) ・R4 敦賀市:国道8号線歩行空間(毎月第2土曜)、大野市:COCONOアートプレイス(毎月1回) ・R5 県内4市町のまちなか交流施設、公園等に新たに1か所ずつ設置し、年1回の企画ステージを開催 (2) ストリートカルチャー活動支援 ① 日常的なまちなかステージ利用促進のため、若い世代に愛好家が多いストリートカルチャーの活動を支援 ② ①の集大成として、駅前ストリートカルチャー・フェスを開催(会場:福井駅周辺)												
[受益者] 県内の文化芸術団体						[想定される受益者数] 約100団体						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

みんなのまちなかステージ設置支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,753				9,753							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					11,097	9,753	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージの回数減（年52回→年20回） ・ストリートカルチャーフェス開催費支援の減（1/2支援→1/3支援） 					
2月現計予算額の推移			6,500	6,500	6,539							
決算額の推移			0	5,000								
前年度までの 主な増減理由	R3年度当初予算をR2年度補正予算に前倒し											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ステージの利用回数 (目標) 実績			(50) 64	(110)	(110)	(110)	(110)	ステージ開放日に1回（1組）の利用			
活動指標	看板、ステージの制作 (目標) 実績			(3) 3	(7) 6	(7)	(7)	(7)	ステージ設置数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市と大野市において、新たにまちなかステージを設置。大野市では「美術」「文学」「音楽」とジャンル毎にステージを設置するなど、各地で特色あるステージが展開されている。 ・ストリートカルチャーフェスは、令和4年度の来場者数が2,000人と盛り上がりを見せている。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ステージの回数減とストリートカルチャーフェス開催費支援の減。 ・ステージ設置箇所を県内で拡大して、まちなかで誰もが芸術文化活動を発表できる機会を増やす。 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,344	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

音楽を活用したまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] これまでの芸術文化活動は、ホールなど施設の中での発表・鑑賞が中心であり、広く一般に享受されてこなかった。音楽を活用したコミュニティを形成することにより、芸術文化に親しむ環境が必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的] 株式会社ヤマハミュージックジャパンが実施する音楽の街づくり「おとまち」のノウハウの提供や運営協力を得ながら、まちなかでいつでも音楽が聞こえるまちづくりを推進する。												
[事業内容] (1) 幅広い世代が気軽に参加できる楽器体験会の開催 ・ 社会人、学生バンド等のアマチュアが集う発表会や、それに合わせた楽器体験会を開催し、(3)へ誘導 (2) アマチュアプレイヤーの発掘と仲間づくりに対する支援 ・ 音楽に興味のある若い世代のアマチュアプレイヤーの掘り起こし ・ 掘り起こしたアマチュアを(3)へつなげるほか、身近なグループづくりを支援 (3) 音楽サークルの設立、運営支援 ・ 住民交流やホール利用促進のため、意欲あるホール運営者による住民公募の楽団・バンドを設立 ・ 各楽団は市町ホールにおいて日々の練習を実施、発表会を開催。他市町の希望者受入れ ・ 参加者に対する無償楽器貸与、指導者派遣等による楽団等の運営支援												
[受益者] 県内の文化芸術団体						[想定される受益者数] 約100団体						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

音楽を活用したまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営									R3 年度		
補助率										3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	25,054				25,054							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			21,000	28,160	25,054	・ 楽器体験会の回数減 (2→1) ・ 仲間づくり支援団体数減 (11→9)						
2月現計予算額の推移			21,000	23,320								
決算額の推移			20,582									
前年度までの主な増減理由	令和4年度 市町ホールを拠点とするアマチュア楽団・バンド等の追加設立による増											
[成果指標等の推移]												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	サークル参加者数 (目標)		(50)	(70)	(70)	(100)	(170)	音楽活動を開始した県民数 10人/サークル				
	実績		40	139								
活動指標	団体設立数 (目標)		(5)	(7)	(7)	(10)	(17)	アマチュア音楽サークルの設立				
	実績		4	5								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は新たに永平寺町でクラシックギターサークルが始動。 令和5年1月に開催したジョイントコンサートでは5市町の音楽サークルが一堂に会し、100名を超えるプレーヤーの発表と交流の場となった。 				<ul style="list-style-type: none"> 楽器体験会の回数や仲間づくり支援団体数を縮減。 各市町に事業概要を説明し、新たに希望のあった市町ホールでのサークル設立・運営を支援する。 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	3,106	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

アートプロジェクト支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] アートの力を活用した地域の活性化を図るため、県内芸術文化団体を支援する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的] 県内アーティストや芸術文化団体の活動を広く発信するとともに、専門家による相談窓口を設置し、団体の活動支援を行うことで、アートを活用した地域活性化を図る。												
[事業内容] (1) 相談窓口の設置、相互交流を図る研修会の開催 ・アートプロジェクト(アートを活用した地域振興策)を実施、または実施を検討している企業、団体等が相談できる専門の窓口を設置(月1回) ・ワークショップやグループディスカッションなど、団体等の相互交流を図る研修会を開催 ・芸術文化の振興に高い専門性を持つスタッフを配置し、アートプロデューサーや芸術文化アドバイザーと連携しながら、県や文化庁等の各種芸術文化事業への助成を支援 (2) アートプロジェクトの支援 ・地域の魅力向上や社会課題の解決につながる、アートを活用したまちづくりに取り組む事業に奨励金を支給												
[受益者] 県内の文化芸術団体						[想定される受益者数] 約100団体						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 アートプロジェクト相談支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 芸術文化活動推進事業、若者文化活動応援事業 (実績) アーティスト滞在型活動支援事業 ・アートプロジェクトを実施・検討する団体等への支援 ・文化芸術の振興に寄与する事業や活動に対する補助 ・芸術家が地域資源を生かして行う活動を支援					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

アートプロジェクト支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	33,340	14,978			18,362	文化芸術振興費補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					32,037	33,340	芸術文化の振興に高い専門性を持つスタッフを配置し、アートプロデューサーや芸術文化アドバイザーと連携しながら、県や文化庁等の各種芸術文化事業への助成を支援					
2月現計予算額の推移					29,214							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	芸術文化活動に参加した 県民の数 (目標) 実績				(60,000)	(60,000)	(60,000)	(60,000)	県補助事業への参加者数			
活動指標	事業採択数 (目標) 実績				(13) 32	(13)	(13)	(13)	事業採択数13件			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・アートを活用したまちづくりに取り組む32団体を助成するとともに、 相談窓口の設置や研修会の開催（4回）により、活動団体や関係機 関との交流や情報交換の場を提供した。				・芸術文化の振興に高い専門性を持つスタッフを配置し、 アートプロデューサーや芸術文化アドバイザーと連携 しながら、県や文化庁等の各種芸術文化事業への助成 を支援				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

ふくい文化の担い手育成プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 将来の文化の担い手となる子どもたちが芸術文化に親しむ環境整備が必要						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的] 音楽堂や美術館、博物館などの文化施設を利用し、子どもの文化に触れる機会を増やすとともに、一流のアーティストの指導を受ける場を提供し、福井の文化の担い手を育成する。												
[事業内容] (1) はじめての芸術体験推進事業 ①ふるさと子どもコンサート…幼児・小学校低学年の児童を対象とした、地域の演奏家等による親しみやすいコンサート (2) ジュニアアーティスト育成事業 ①ヤングアートキャンプ…中・高校生の文化部の生徒を対象として一流の芸術家が指導 (3) 博学連携「スクールミュージアム」 ①キッズミュージアム…美術館・博物館で子どもが創作したり、体験したりしながら学ぶ ②学校鑑賞会…学校鑑賞会や出前授業を通して、子どもが本物に触れる機会を充実させる ③ふれあいミュージアム…学芸員等が学校へ出向き、専門的知識を生かして美術・歴史等の授業を実施												
[受益者] 幼児、小学生、中学生、高校生						[想定される受益者数] 11,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 子どものための文化芸術促進事業 (実績) ・文化施設で伝統芸能、室内楽、合唱等を鑑賞する「芸術鑑賞教室」 ・子どもが日頃の文化活動の成果を発表する「子ども文化祭」等					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	・ふるさと子どもコンサートは、市町と共催で実施					他県の状況						

ふくい文化の担い手育成プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,882				3,882							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		50,271	49,821	50,300	3,882	3,882						
2月現計予算額の推移		50,271	28,306	50,610	3,882							
決算額の推移		50,047	28,225	49,996								
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ R2年度 出張音楽堂の実施回数減による減額 ・ R3年度 コロナ対策のかかり増し経費の増額 ・ R4年度 事業内容の整理による減額（ふれあい文化子どもスクール、ふるさと子どもコンサート（音楽堂）、未来の音楽人材育成事業） 											
[成果指標等の推移]												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	芸術・文化を体験する子ども数 (目標) 実績	(11,000) 10,551	(11,000) 5,216	(11,000) 6,846	(11,000)	(11,000)	(11,000)	(11,000)	ふるさと子どもコンサート、ヤングアートキャンプ、スクールミュージアム参加者数			
活動指標	事業実施回数 (目標) 実績	(80) 120	(80) 76	(80) 74	(80)	(80)	(80)	(80)	ふるさと子どもコンサート、ヤングアートキャンプ、スクールミュージアム実施回数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児や児童を対象とした音楽コンサートの開催や子ども達の博物館・美術館の鑑賞、学校への出前授業の実施などにより6,846人の子ども達が芸術文化に触れることができた。 ・ 外的要因 コロナ禍により子ども向けの事業は実施が難しい中、学校と協力して感染対策を徹底し、事業規模を縮小して実施したことによる目標未達成 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

若手美術家育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 多くの美術ファンが集う都内で若手美術家の創作活動が発表できる機会はなく、優秀な作家であっても発信力に欠けているため、全国発信するツールが必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 平成27年国勢調査 県の職業別就業者数 小分類「美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者」1,500人／399,450人						
[事業目的] 本県ゆかりの若手美術家の発表機会を創出し、創作活動の発信を応援する。												
[事業内容] (1) ふくいアートアタック 首都圏において、若手美術家が初めて開催する個展を支援する。 ・ 出展する本県ゆかりの若手美術家を公募(2枠) ・ 学芸員資格保有者などの美術に精通している委員で構成する審査委員会により、出展作家を選定 ・ 会場使用料、広報費、企画料などを県が負担 ・ 会場は、首都圏において美術関係者、美術ファンが集い美術に関する情報が集積する場所 ・ 会期は、2週間程度(1枠当たり1週間)												
[受益者] 本県ゆかりの若手美術家						[想定される受益者数] 6名(3年間)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

若手美術家育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,452				2,452							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					2,452	2,452						
2月現計予算額の推移			1,885	1,885	2,452							
決算額の推移			0	1,880								
前年度までの 主な増減理由	R3年度当初予算をR2年度2補正予算に前倒し											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	作品展示する若手美術家数 (目標) 実績	-	-	(2) 2	(2) 2	(2)	(2)	(2)	公募による選定 2名/年			
活動指標	応募者数 (目標) 実績	-	-	-	-	-	-	-				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 応募者18名から、東京での個展開催作家を2名選定。 ・ 令和5年2月6日～2月18日の期間に、東京銀座のギャラリーで個展を開催。開催期間中に作品が売れるなど好評を得た。 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

芸術文化を感じる街ふくい創出事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	直営													
補助率														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題] これまでの芸術文化活動は、主にホールなど施設の中で発表・鑑賞されており、広く一般の県民の鑑賞機会が少なかった。そこで、芸術文化に馴染みのない県民にも芸術文化に親しむことができる環境をつくる必要があるとなっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)								
[事業目的] まちかどミニコンサートを実施することより、普段の生活の中で文化を感じられる環境づくりを推進する。また、本格的なオーケストラコンサートを鑑賞する機会の少ない嶺南地域においてプロオーケストラによる公演や美術作品の展示を実施し、芸術文化の鑑賞機会を提供する。														
[事業内容] (1) 駅などのオープンスペースにおいて、県内ゆかりのアーティストによるまちかどミニコンサートの開催(各市町1回/年、無料) 会場：各市町の駅や公園 等 音楽の祭日(6月21日：夏至の日)に、ハピテラスにおいてミニコンサートの実施 (2) 嶺南の文化施設においてオーケストラコンサートの開催および美術作品の展示(2回/年、有料) 会場：R2年度…敦賀市、若狭町 R3年度…美浜町、高浜町 R4年度…小浜市、おおい町 コンサートにあわせ、優れた美術作品の展覧会を開催														
[受益者] 嶺南地域および嶺北周縁地域の県民						[想定される受益者数] 1,010人								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	実施地域の市町の共催、広報紙での広告					他県の状況								

芸術文化を感じる街ふくい創出事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	直営								事業 区分	事業 区分			事業 区分	R2 年度
補助率														経過年数 3 年
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			43,935	42,186	42,126		音楽プレイヤーの裾野拡大を目的に、鑑賞型の事業から参加型の事業へ移行するため、事業を廃止							
2月現計予算額の推移			43,935	42,186	42,126									
決算額の推移			43,859	41,214										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	コンサート来場者数 (目標) 実績		(1,520) 2,666	(1,010) 1,284	(1,010)		(1,010)	(1,010)	まちかどコンサート：30人×17会場 オーケストラコンサート：250人×2会場					
活動指標	コンサート実施数 (回) (目標) 実績		(32) 36	(19) 18	(19)		(19)	(19)	まちかどコンサート：17回/年 オーケストラコンサート：2回/年					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は16市町でのまちかどコンサートで735人、美浜町、高浜町で開催したオーケストラコンサートで549人、同会場で実施したアート展で983人の来場者があった。 ・新型コロナの影響でまちかどミニコンサートを1公演中止した。 ・音楽プレイヤーの裾野拡大を目的に、鑑賞型の事業から参加型の事業へ移行するため、事業を廃止。 				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	42,126			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

若手アーティスト活動支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 芸術文化が豊かな生活や地域づくりに必要不可欠と認識されているが、広く一般に浸透していないため、様々な芸術文化を横断的に支援し、活動を応援することが必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的] 若手アーティストの活動を支援することにより、芸術文化を通じた豊かな地域づくりを進める。												
[事業内容] (1) 若手アーティストの作品展示によるまちなかのギャラリー化 (R2~4年度) レストラン等オーナーの協力により店舗内で展示・販売。参加店舗・アーティストは公募 [参加店舗] R3年度~ 100店舗 [参加アーティスト] 30人 [仕組み] ・作品は購入可とし、ファン拡大と創作資金を応援。民間(マスコミ等)の参画を求め、タイアップ記事掲載などの協力を得る。 ・協議会は、登録料(1,000円)と作品売買手数料(売上の3割)を徴収し、自立化を図る。 (2) 人材育成事業 民間が主体となってアートを様々な世代や立場の人とつなげるアート・コミュニケータを養成する。												
[受益者] 県内の文化活動団体等						[想定される受益者数] 約100団体						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

若手アーティスト活動支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	0											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				1,335	1,418		事業内容を見直し、別事業に整理統合を予定しているため、事業廃止					
2月現計予算額の推移			5,530	1,335	1,418							
決算額の推移			5,028	620								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	若者グループ登録数 (目標)		(4)	(10)	(16)		(16)	(30)	文化活動を行う若者グループ数			
	実績		5	9	16							
活動指標	事業実施数 (目標)		(2)	(2)	(2)		(2)	(2)	まちなかのギャラリー化、人材育成			
	実績		2	2	2							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に県内各地のレストラン等25箇所において若手アーティストの作品を展示し、発表の場を提供した。 ・令和4年度にアート作品やアート活動を通して、人と人、アートとまちをつなげるアートコミュニケーターの養成講座を年2回開し、人材育成を推進した(R4)。 ・事業内容を見直し、別事業に整理統合を予定しているため、事業廃止 				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,418	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

まちかどヤング・アート・カレッジ開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課		課長名	三武 紀子		
事業主体		県			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法		直営												
補助率														
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]			関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
街の中に美術作品などのアートに触れる空間が少なく、気軽にアートに出合える場が必要となっている。						「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)								
[事業目的]														
「まちかど」で気軽にアートに触れ楽しむことができる空間をつくり、アートによる人の交流拡大や地域の活性化を図る。また、学生にアートを活用した地域振興プランを実施する手法を学んでもらうことで、担い手の育成を図る。														
[事業内容]														
(1) 次年度に向けた計画(R3)														
・アート作品展示・装飾が可能な場所、ワークショップ開催場所等の検討														
・ワークショップなど期間中のイベントの計画														
・招聘するアーティストの選定														
(2) 学生・アーティストによるアートイベントの実施(R4)														
・学生・アーティストによるワークショップ・アートイベントの開催														
・アーティスト・地元住民による作品展示														
・ワークショップ・アートイベント・展示等を巡るための散策マップの作成														
[受益者] 開催地域の地元住民、県内外の観光客および店舗等						[想定される受益者数] 約200人								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

まちかどヤング・アート・カレッジ開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体		県			事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度	
事業実施方法		直営										
補助率												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			320	320	673		県主体のモデル的な事業は終了し、別事業で県民主体の活動支援に移行するため、事業を廃止					
2月現計予算額の推移			0	320	673							
決算額の推移			0	300								
前年度までの主な増減理由	令和2年度 新型コロナの影響で事業中止 令和4年度 これまで策定した計画に基づきイベントやワークショップを開催											
[成果指標等の推移]												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	事業に関わった学生数 (目標) 実績			(20) 40	(20) 25		(20)	(20)	イベント開催に際し、準備・運営にかかわる学生			
活動指標	計画策定数及びイベント・研修・ワークショップの開催数 (目標) 実績			(1) 1	(2) 5		(2)	(2)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・地元の大学・高校の学生が関わり、和紙や絵本などの地域の文化資源を活かしたアートイベントを開催し、129名の集客があった。 ・県主体のモデル的な事業は終了し、別事業で県民主体の活動支援に移行するため、事業を廃止 				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額 673	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線福井・敦賀開業カウントダウン首都圏プロモーション

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	直営													
補助率														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~北陸新幹線開業プラン~]							
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線開業に向け、一乗谷朝倉氏遺跡博物館のPRを行い、露出拡大を図ること で、認知度・魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡見学者数 (観光統計) H30 : 723千人 R元 : 1,057千人 R2 : 851千人 R3:567千人								
[事業目的] 年度末に北陸新幹線県内開業を迎える令和5年度に、始発となる東京駅の丸の内周辺施設を中心としてPR活動を行い、一乗谷朝倉氏遺跡博物館への誘客拡大を図る														
[事業内容] 開館1周年を迎える一乗谷朝倉氏遺跡博物館のPRイベント (春風亭昇太氏の落語会等) の開催														
[受益者] 北陸新幹線福井・敦賀開業カウントダウンキャンペーン来場者数						[想定される受益者数] 36,000人 (R3)								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

北陸新幹線福井・敦賀開業カウントダウン首都圏プロモーション

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											R5 年度		
補助率												R5 年度		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	8,037					8,037								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						8,037								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	イベント来場者数 (目標) 実績					(36,000)			PRイベント来場者数 36,000人					
活動指標	開館1周年イベント実施回数 (目標) 実績					(1)			首都圏での開館1周年イベント 1回以上開催					
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
								■ 拡充		□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続		□ 休止	□ 完了			
								□ 整理統合		□ 廃止	□ その他			

一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] ・戦国期体験メニューの常時提供、AR等デジタル技術の導入 ・山城見学環境の改善 ・遺跡案内ガイドの養成・配置等の整理						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡見学者数(観光統計) R元: 1,057千人 R2: 851千人 R3: 567千人						
[事業目的] 北陸新幹線福井延伸や東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、日本で唯一戦国城下町の遺構が手つかずのまま残る「特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡」を積極的に活用し、国内外への発信の強化、案内サービスの一層の充実を図ることで、遺跡への誘客を促進する。												
[事業内容] (1) 山城の観光活用 ・山城案内ボランティアの養成・活動経費 (2) 山城を含めた遺跡内アクセス環境の向上 ・山城登山道アクセス環境の整備 ・遺跡内無料周遊バス「朝倉ゆめまる号」の運行 ・山城案内ボランティアの養成 (3) 案内・サービスの充実 ・来訪者のスマートフォンやタブレット端末などを使った案内 ・遺跡内案内ボランティアなどによる案内サービスの充実 (4) 戦国城下町生活再現の実施												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 567,482人(令和3年度実績)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業 (役割分担) 朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業では、令和4年10月に開館した「一乗谷朝倉氏博物館」への誘客、令和6年の北陸新幹線開業福井開通など大きな契機を迎えるにあたり、令和2年度～令和6年度の5年間にわたり、観光客の受入環境整備を強化する					
市町との連携状況	県と福井市が一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会の構成員となっており、協働して実施。				他県の状況							

一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H16 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金								事業経過年数	20 年		
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,000				9,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	7,000	7,000	7,000	7,000	9,000	朝倉氏遺跡受入環境整備事業を活用し、遺跡周遊バスを運行予定だったが、文化庁への確認によりR5以降のバス運行への活用ができないことが分かったため、県・市200万円ずつ増額し賄う。						
2月現計予算額の推移	7,000	7,000	7,000	7,000								
決算額の推移	7,000	7,000	7,000									
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者 (目標)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	遺跡来訪者数100万人を目指す				
	実績	1,056,679	850,735	567,482								
活動指標	生活再現実施日数 (目標)	(50)	(50)	(50)	(50)	(20)	(30)	実施日数50日以上を維持				
	実績	18	12	25	66							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・事業実績 遺跡来訪者の増には繋がらなかったものの、生活再現イベントについては前年度より開催日数を増やすことができ、来訪者の満足度向上につなげることができた。 ・事業による原因および外的要因 新型コロナウイルスの拡大に伴い旅行者が減少する中、一乗谷朝倉氏遺跡博				・新博物館が開館し、新幹線開業なども控えているため、遺跡現地においても誘客を強化し、成果指標達成を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立に向けた連携研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			事業経過年数					4 年			
補助率												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[福井県観光新戦略]					
[解決すべき問題・課題] 令和元年12月に締結した国立文化財機構奈良文化財研究所との協定に基づき連携研究を実施し、劣化の進む一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立することにより、遺跡を確実に保存し、露出展示を続けていく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡見学者数 (観光統計) R元: 1,057千人 R2: 851千人 R3: 567千人						
[事業目的] 特別史跡・特別名勝である一乗谷朝倉氏遺跡を永続的に保存・活用し続け、さらには全国の史跡・名勝等の保存・活用に貢献する。												
[事業内容] 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所との共同研究協定締結し、保存技術の確立を目指す。 ・奈良文化財研究所の研究員等からの指導 ・解析用データの取得 (水位変動、気象観測、石材強度、石材硬度等)												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 567,482人 (令和3年度実績)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 (日本トップレベルの中世都市遺跡研究の拠点化推進事業) (実績) (~H31) ・気象観測等データ取得 ・劣化状況記録					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立に向けた連携研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営									R2 年度		
補助率										経過年数		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	24,059	12,029			12,030	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)						
[予算額の推移等] (単位: 千円)												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		17,178	21,883	25,811	24,059	調査委託内容変更による減						
2月現計予算額の推移		16,289	21,883	25,811								
決算額の推移		13,252	20,845									
前年度までの主な増減理由	R3年度より本格的な調査・研究に伴う備品費の増および奈文研職員の来訪頻度の増加による旅費の増											
[成果指標等の推移]												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者数 (目標)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	遺跡来訪者数100万人				
	実績	850,735	567,000									
活動指標	調査項目数 (目標)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	調査項目数: 8項目/年				
	実績	8	8	8								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・事業実績 調査については、解析用データの取得(水質変づ、気象観測、石材強度、石材硬度等)を予定どおり進めた。 ・事業による原因および外的要因 新型コロナの拡大に伴い旅行者が減少する中、一乗谷朝倉氏遺跡博物館開館準備のため資料館が閉館した影響も重なり、来訪者が減				・保存技術の確立を目指し、引き続き調査・研究を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,752	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課		課長名	三武 紀子	
事業主体		一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	負担金			□ 法定受託事務									■ その他
補助率													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外の観光客に対する受入環境が不十分である。 ・ 来訪者の周遊導線を意識しながら、遺跡案内の充実、交通手段の魅力向上等により観光地としての受入環境を整備し、滞在時間を延長させる。 						一乗谷朝倉氏遺跡見学者数（観光統計） R元：1,057千人 R2：851千人 R3:567千人							
[事業目的]													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年5月、国において、博物館等文化施設を中核に周辺地域の観光を推進する「文化観光推進法」が施行 ・ 併せて創設された国の補助を活用して朝倉氏遺跡の受入環境を整備、誘客を拡大 													
[事業内容]													
(1) 遺跡内の無料Wi-Fi整備（5G、全キャリア対応型） 来訪者がスマホによる情報取得・SNS利用等のほか、遺跡見学の案内ツールを円滑に利用できる環境を整備 [整備エリア・年次] R2：復原町並、唐門周辺地区 R3：特別名勝庭園、平面復原地区 R5：下城戸 (2) 最新技術による遺跡案内 歴史知識のない来訪者にもわかりやすく楽しい遺跡見学のための案内ツールを制作、機能拡張により利便性を向上 [事業計画・年次] R2：導入計画 R3～4：AR等制作 R4：AR追加コンテンツ制作・ポータルサイト開発 R5：既存アプリとの統合・機能拡張 (3) 便益施設充実 すべての来訪者が安全で快適に遺跡を見学できる環境を整備 [事業計画・年次] R5：キャッシュレス決済機導入、山城案内板リニューアル (4) 滞在時間延長 来訪者が遺跡現地において、戦国時代の生活をより楽しく体感できる体験メニューを実施するための設備を充実 [事業計画・年次] R5：体験メニュー用備品制作													
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 567,482人（令和3年度実績）							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業 (役割分担) 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業では、魅力発信強化のための活動を持続的に行っているが、一乗谷朝倉氏遺跡受け入れ環境整備事業では、新博物館開館や北陸新幹線福井開通に向け、令和2～6年度の5年間にわたり、受入環境整備を強化して行う。					
市町との連携状況	県と福井市が一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会の構成員となっており、協働して実施。					他県の状況							

一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金								事業経過年数	4 年		
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	8,000					8,000						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	-		10,000	8,000	8,000							
2月現計予算額の推移	-	2,984	10,000	8,000								
決算額の推移	-	2,984	10,000									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）開館に向け、受入環境整備に係る主な事業は令和3年度実施したため、令和3年度の予算が増額した。 ・令和4年度は一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）開館前の半年で整備できる事業および誘客拡大に向けた事業を実施予定であるため、予算が減額した。 											
[成果指標等の推移]												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者数	(目標) 実績	(100,000) 850,735	(1,000,000) 567,482	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	遺跡来訪者数100万人を目指す				
活動指標	観光団体、地元団体、関係事業者との協議回数	(目標) 実績	(5) 5	(5) 5	(5)	(5)	(10)	(10)	協議回数10回を目指す			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・事業実績 地元協議は目標どおり行い、事業を遂行することができたので、引き続き地元と連携を取りながら、来訪者数増につなげたい。 ・事業による原因および外的要因 新型コロナウイルスの拡大に伴い旅行者が減少する中、一乗谷朝倉氏遺跡博物館開館準備のため資料館が閉館した影響も重なり、来訪者が減 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた越美北線魅力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課		課長名	三武 紀子			
事業主体		県			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法		直営													
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]			関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題] ・観光資源としての越美北線の魅力向上 ・越美北線沿線地域に所在する観光資源の磨き上げおよび周遊滞在促進 ・国内外への情報発信による誘客促進						[問題・課題を表す客観的データ] 越美北線利用者数 243,773人 (R2)									
[事業目的] 北陸新幹線福井開業を活かした越美北線の観光利用の促進および沿線観光の振興を図るため、越美北線の魅力を高める。															
[事業内容] ○越美北線ガイドアプリの保守・運用・拡充 ・スタンプラリーや割引クーポン機能の拡充、みんなのARTVの運用、沿線観光情報・旅のお供コンテンツの追加 ・アプリ活用に向けた広報 ○戦国列車の運行 ・福井駅で新幹線から降車した観光客を一乗谷へ誘導するため、戦国時代の雰囲気味わえ、列車に乗ること自体を楽しめる演出を行う「戦国列車」を運行															
[受益者] 越美北線利用者数						[想定される受益者数] 243,773人 (R2)									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)開館記念事業 (実績) ・戦国列車の運行 ・「越美北線ARナビ」の制作					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	・越美北線観光利用促進協議会にて、JR・大野市・福井市・県の4者で 情報共有・実施事業を協議 ・同4者が協力して事業を推進、統一的に情報を発信してPR					他県の状況									

北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた越美北線魅力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営									経過年数		
補助率										1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	15,305				15,305							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						15,305						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光利用による越美北線 利用人数(増加数)	(目標) 実績				(80)			観光利用による越美北線利用者数を年間80人増を目指す			
活動指標	戦国列車運行回数	(目標) 実績				(8)			戦国列車ツアーとしての運行回数 8回/年			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	S42 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営			経過年数					57 年			
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 一乗谷朝倉氏遺跡は昭和42年以来継続して発掘調査・調査結果に基づく整備事業により、広範囲で本物の遺構を露出展示するなど大きな成果をあげてきたが未 解明な点も多く、今後も継続して発掘調査・整備等を実施する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 環境整備済面積：約15ha (特別史跡指定範囲【約278ha】の5%)						
[事業目的] 全国的にもまれな規模と内容をもつ戦国城下町である一乗谷朝倉氏遺跡について、「朝倉氏遺跡研究協議会」の指導のもと、その価値を高めるために発掘調査およ び環境整備を実施し、福井県民をはじめ全国から訪れる見学者のために、生きた歴史教育・生涯学習の場として活用される史跡公園の整備を目指す。												
[事業内容] 「特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡発掘・整備基本計画」「特別名勝一乗谷朝倉氏庭園保存活用計画」に基づき、発掘調査および環境整備等をおこなう。 ○発掘調査事業・・・学術的な発掘調査を実施し、戦国城下町の人々の生活様式等を解明する。 ○復原整備事業・・・発掘調査成果を受けて、検出した遺構の保存を行いながら、当時の様子を復原する。 ○重要文化財保存修理事業・・・朝倉氏遺跡出土の重要文化財の保存修理を行う。 ○重要文化財追加指定事業・・・重要文化財の追加指定を目指し、資料集成、調査分析、成果の公開等を行う。												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 567,482人(令和3年度実績)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	発掘・環境整備は県が実施し、福井市が管理を行う。					他県の状況						

一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 S42 年度 経過年数 57 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度	
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	219,865	106,723	70,000			43,142	国庫：国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業費国庫補助金 起債：公共事業等債、行革債					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		46,753	47,070	97,590	125,179	219,865	協議会にて策定された短期計画に基づく増額 埋蔵文化財追加指定事業の追加に基づく増額					
2月現計予算額の推移		36,252	17,905	60,270	62,279							
決算額の推移		35,060	17,825	59,963								
前年度までの 主な増減理由		協議会にて策定された短期計画に基づき実施										
[成果指標等の推移]												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	報告書刊行数	(目標) (1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	発掘・復元状況の報告書を発行			
		実績 1	1	1								
活動指標	発掘・復原面積	(目標) (580)	(351)	(321)	(2,250)	(6,540)			研究協議会にて策定された短期計画に基づく			
		実績 500	50	499	2,050							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・斜面崩落部の発掘調査 ・西山光照寺跡整備工事 ・劣化対応調査				短期計画に基づき、事業実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	S59 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			事業開始年度					経過年数	事業終了 予定年度 (見直し年 度)		
補助率				事業開始年度					40 年			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
常設展示だけでは伝えきれない福井の歴史、民俗、文化について、県内外の他館の資料も用いながら来館者へわかりやすく伝える。						企画展観覧者数 5,936人 (R4) 5,771人 (R3) 6,555人 (R2)						
[事業目的] 資料収集、調査研究の成果をもとに展示、公開することで、福井県の歴史、民俗、文化を県民および県内外からの来館者へわかりやすく伝え、歴史文化への関心を高める。												
[事業内容] (1) 企画展開催事業 (18,405千円) 夏季特別展「柴田勝家と越前」(仮) 令和5年7月29日(土)～9月3日(日)37日間 徳川家康を主役とする大河ドラマに合わせて、当該期の越前を支配した柴田勝家を紹介 秋季特別展「川と暮らしの景観」(仮) 令和5年10月21日(土)～11月26日(日)37日間 県内各地への来訪を促す契機として、古地図を中心に江戸時代以降の川と暮らしの景観を紹介 フレキシブル展示 常設展示の定期的な入れ替えを実施 (2) 企画展準備事業 (239千円) 令和5年度以降の企画展開催のための調査、資料借用のための交渉を実施												
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 5,936人 (令和4年度実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 歴史博物館資料収集事業、歴史博物館調査研究事業 (役割分担) ・歴史博物館資料収集事業 資料収集事業で収集した資料を企画展等で公開 ・歴史博物館調査研究事業 調査研究事業での成果を企画展等で公開						
市町との連携状況						他県の状況						

歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 S59 年度 経過年数 40 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	18,644			(使・諸) 5,675	12,969		観覧料2,875千円、図録販賦料2,800千円					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		14,319	17,232	15,311	17,075	18,644						
2月現計予算額の推移		14,319	18,032	15,311	17,075							
決算額の推移		13,498	14,110	13,363								
前年度までの主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ H30年度 幕末明治福井150年博メイン会場の展示として実施 ・ R2年度 会計年度任用職員経費の減 (政策推進Gで要求) ・ R3年度 企画展の内容に基づく減額 ・ R4年度 企画展の内容に基づく増額 										
[成果指標等の推移]												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展観覧者数	(目標)	(8,500)	(8,500)	(9,000)	(9,000)	(9,000)	(9,000)	夏季特別展 5,000人 秋季特別展 4,000人			
		実績	8,335	6,555	5,771	5,936						
活動指標	企画展開催件数	(目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)				
		実績	2	2	2	2						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 展示資料の調査・借用においても、感染拡大地域に所在するものは困難になったため、展示内容の変更や県外向け広報の縮小などを行った結果、夏季特別展観覧者数は2,376人、秋季特別展観覧者数は3,560人で計5,936人となり、目標には届かなかった。 ・ 外的要因 新型コロナウイルスの影響により、不要不急の外出自粛が呼びかけられ観覧者数が減少した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度は、コロナ禍もあり入館者目標に達しなかったが、引き続き広報に努めるとともに、大河ドラマに絡めて柴田勝家に関する企画展を開催するなど親しみのあるテーマの企画展を開催することで誘客を促進 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

若狭歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課		課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	S57 年度 経過年数 42 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営												□ 法定受託事務	□ 補助金	□ その他
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
常設展示だけでは伝えきれない福井県若狭地方の歴史、民俗、文化について、 県内外の資料も用いながら来館者へわかりやすく伝える。						R2「金色の煌めき」入館者数 2,397人 R3「森と出会った縄文人」入館者数 2,213人 R4「中世の若狭のまち」入館者数 1,245人									
[事業目的]															
調査研究の成果をもとに若狭地方の歴史・民俗・文化をわかりやすく公開・紹介することで、県内外からの来館者や地域の方々の歴史文化への関心を高める。															
[事業内容]															
(1) 企画展開催事業 (9,102千円) 特別展「近代若狭観光史(仮)」 令和5年9月29日(金)～11月5日(日) 若狭地方の歴史、民族、文化についての調査を行い、企画展や講演会、講座として、広く県内外に紹介し、地域文化の高揚を図る。															
(2) 若狭のみほとけフレキシブル (3,704千円) 仏像公開に特化した展示室において、継続して定期的に仏像の展示替えを実施															
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 1,245人(令和4年度実績)									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 若狭歴史博物館調査研究事業 (役割分担) ・若狭歴史博物館調査研究事業 研究事業での成果を企画展等で公開								
市町との連携状況					他県の状況										

若狭歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 S57 年度 経過年数 42 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営										
補助率											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	12,806			(使・諸) 1,332	11,474	観覧料892千円、図録販賦料440千円					
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移	17,871	13,684	11,970	9,857	12,806						
2月現計予算額の推移	13,552	12,154	11,159	9,768							
決算額の推移	12,907	11,437	10,782								
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ H27年度 若狭歴史博物館開館1周年記念特別展を開催 ・ H31年度 リニューアル5周年記念特別展を開催 ・ R2年度 会計年度任用職員経費を政策推進Gで要求 ・ R3年度 企画展の内容に基づく減額 ・ R4年度 企画展の内容に基づく減額 										
[成果指標等の推移]											
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展観覧者数	(目標) 5,000 実績 2,078	(3,000) 2,397	(2,800) 2,213	(2,800) 1,245	(2,800)	(3,000)	「近代若狭観光史」 2,800人			
活動指標	企画展開催件数	(目標) (1) 実績 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1)		企画展1回開催			
[事業の評価]											
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 展示資料の調査・借用においても、感染拡大地域に所在するものは困難になったため、展示内容の変更や県外向け広報の縮小などを行った結果、企画展観覧者数は1,245人となり、目標には届かなかった。 ・ 外的要因 新型コロナウイルスの影響により、不要不急の外出自粛が呼びかけられ観覧者数が減少した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度は、コロナ禍もあり入館者目標に達しなかったが、引き続き広報に努めるとともに、できるだけ「地のもの」を紹介しながら中世の小浜・敦賀に関する企画展を開催し若狭にのこる豊かな歴史や文化財を身近に感じてもらい、誘客促進を図る 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

一乗谷朝倉氏遺跡博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	S61 年度 経過年数 38 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営													
補助率														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題] 常設展示だけでは伝えきれない一乗谷朝倉氏遺跡の価値や魅力について、県内外の資料も用いながら来館者へわかりやすく伝える。						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡博物館 令和4年10月開館 (旧資料館見学者数 H30: 64千人 R元: 88千人 R2: 87千人 R3: 564千人)								
[事業目的] 一乗谷朝倉氏遺跡の調査研究成果をもとに朝倉氏に関する歴史資料などを公開展示することで、県内外からの来館者の一乗谷朝倉氏遺跡への関心を高める。														
[事業内容] (1) 開館記念特別展Ⅱ 会 期: 令和5年3月1日～5月14日 テーマ: 東山文化と朝倉文化 ～戦国から続く文化の継承～ (2) 開館1周年・朝倉義景没後450年記念特別展 会 期: 令和5年7月22日～9月3日 テーマ: 朝倉義景の一生 (3) テーマ展 会 期: 令和5年10月7日～11月26日 テーマ: 発掘調査報告書20の成果展														
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 200,000人								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)開館記念事業 (実績) 開館記念特別展Ⅰ (R4.10.1～R5.1.31) 19,616人					関連事業の有無・ 役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

一乗谷朝倉氏遺跡博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	S61 年度 経過年数 38 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率						□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	13,180			(使・諸) 21,623	△ 8,443	観覧料20,323千円、図録販賦料1,300千円								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						13,180								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡博物館 見学者数	(目標)				(200,000)	(200,000)	(200,000)	一乗谷朝倉氏遺跡博物館見学者数 20万人/年					
活動指標	企画展開催件数	(目標)				(2)	(2)	(2)						
		実績												
		実績												
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・開館記念特別展として2回企画展を開催 ・県外からの来客も大幅に増加し、開館から2月末までの入館者数は77,769人 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

県立美術館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	福井県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業開始年度	S52 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、負担金								事業終了年度	経過年数		
補助率									事業終了年度	47 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
普段接することのできない美術作品の魅力を来館者へわかりやすく伝える						企画展観覧者数 42,770人 (R4) 39,424人 (R3) 31,036人 (R2)						
[事業目的]												
国内外の優れた美術品や県内の美術作品を公開・紹介することで、県民が一流の名品を鑑賞する機会を拡大する												
[事業内容]												
(1) 企画展開催事業 (45,155千円) <ul style="list-style-type: none"> ① 「富田溪仙展～越前の紙漉きを描く～」 令和5年5月12日(金)～6月11日(日) 越前の紙漉き現場を取材し《紙漉き》を描いた富田溪仙の画業を通して、近代日本画の角度から越前和紙の魅力を 読み解く ② 「北原照久コレクション展」 令和5年7月14日(金)～8月31日(木) 北原照久の審美眼で選ばれた、懐かしく貴重なブリキ玩具やミニチュアジオラマ、現代アート等を一堂に披露 ③ 「パリにいきたい！」 令和5年9月15日(金)～10月15日(日) パリがもっとも刺激に満ちあふれた 19 世紀中頃～20世紀初頭の姿やその時代の社会の動きを紹介 (2) 企画展準備事業 (14千円) 令和5年度以降の企画展開催のための調査・資料借用交渉を実施												
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 42,770人 (令和4年度実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 美術館資料収集事業 (役割分担) ・美術館資料収集事業 資料収集事業で収集した資料を企画展等で公開					
市町との連携状況					他県の状況							

県立美術館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	福井県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	S52 年度 経過年数 47 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	45,169			(使・諸) 25,188	19,981		観覧料 17,388千円、諸収入 7,800千円					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		62,291	74,743	57,947	26,426	45,169	企画展の内容に基づく増額					
2月現計予算額の推移		61,387	65,192	57,947	24,960							
決算額の推移		59,287	54,364	55,446								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ R2年度からは、会計年度任用職員経費を政策推進Gで要求 ・ R2年度は、嶺南で企画展を開催 ・ R3年度は、嶺南での企画展開催経費の減額（別途予算措置） ・ R4年度は、企画展の内容に基づく減額 										
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展観覧者数	(目標) (68,000)	(43,250)	(48,880)	(13,010)	(20,325)	(48,880)	(48,880)				
		実績 46,890	31,036	39,424	42,770							
活動指標	企画展開催件数	(目標) (2)	(4)	(4)	(3)	(3)	(3)	(3)				
		実績 2	4	4	3							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
令和4年度に下記企画展を開催して目標を達成した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 春色爛漫 春の宴 ザ美人画展 7,129人 ・ 戸田正寿の世界 26,602人 ・ ミリオンセラー・ロングセラーの絵本たち 9,039人 合計 42,770人				・ 令和4年度は、親しみのあるテーマで特別展を企画し、 広報もCMなどを使って大々的に実施した結果目標を達成することができた。引き続き広報に努めるとともに、企画料が高額になりやすい巡回展の回数を減らし、館藏品や近県からの借り受けを中心としたコロナ禍に対応した企画展を開催する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくいのミュージアム連携事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営、補助													
補助率														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
県内全域に分布する博物館・美術館において、これまで歴史や文化、博物館・美術館に興味・関心がなかった人も訪れてみたくなるような働きかけが必要。						県内博物館・美術館数 82館 博物館・美術館を巡るバスツアー運行本数 令和3年度：3本（トライアル）								
[事業目的]														
県内の博物館・美術館の連携を支援し、県民の博物館・美術館に対する興味関心の向上を図るとともに、博物館・美術館を核とした県内周遊を促進。														
[事業内容]														
(1) 情報発信支援 ・ 福井県博物館協議会ポータルサイト「FUKUI MUSEUMS（ホームページ）」の運営支援。 ・ SNSや紙媒体等による広報支援。														
(2) 嶺南地域住民に対する文化交流機会の拡大支援 ・ 嶺南地域から嶺北の各文化施設へ向かう無料送迎バス「フレンドリーアート号」の運行。（年間12便）														
(3) 学芸員間の交流・情報共有のサポート ・ 学芸員の交流会の実施支援。														
[受益者] 送迎バス利用者						[想定される受益者数] 240人								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

ふくいのミュージアム連携事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助								経過年数	2 年				
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,213					2,213								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					3,666	2,213	ホームページ改修が令和4年度に完了したため							
2月現計予算額の推移					2,666									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	送迎バス利用者数	(目標)			(240)	(240)	(240)	(240)	音楽堂行き(中型6台) 文化施設行(小型4便、中型1便、大型1便)					
		実績			102									
活動指標	送迎バス運行台数	(目標)			(12)	(12)	(12)	(12)	運行台数12台/年					
		実績			9									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
・外的要因 新型コロナの影響により送迎バス利用者が少なかった。運行本数に ついても、大雨や台風などの自然災害の影響により3本運行するこ とができなかったため、利用者数が目標値未達成となった				・「FUKUI MUSEUM」運用費用を県博物館協議会への負担金 として計上 ・嶺南地域住民の文化交流機会拡大支援の実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,453			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営			経過年数					8 年			
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 全国で唯一、戦国期の城下町がそのまま残る他に類例のない一乗谷朝倉氏遺跡のガイ ダンス施設として、北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、遺跡の価値や魅力を国内外に 強力に発信し、観光誘客につなげる						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡見学者数(観光統計) R元:1,057千人 R2:851千人 R3:567千人						
[事業目的] 全国の中世都市遺跡研究の拠点、遺跡観光のゲートウェイとなる博物館の整備などを進め、遺跡全体のレベルアップを図る												
[事業内容] (1) 一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)の整備 ・「展示・ガイダンス棟」の建築・展示工事等(令和元～3年度) ・建設予定地周辺の土木工事(平成30～令和4年度) ・駐車場用地取得(令和2～) ・「調査・研究、収蔵棟」改修(令和2～3年度) (2) 開館に向けた整備等 ・備品等の整備(令和3～4年度) ・収蔵資料の再配置(令和3～4年度)												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 21,093人(令和3年度実績)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)開館記念事業 (役割分担) 開館後、記念式典や特別展、重点広報などを実施する				
市町との連携状況	・建設予定地周辺の土木工事について、福井市から負担金を 受け入れ ・博物館の運営体制を含めた遺跡の観光活用事業等について、 福井市と協議を実施					他県の状況						

日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	152,922	1,333,753	3,103,173	613,634		事業完了						
2月現計予算額の推移	152,922	1,332,471	3,102,546	427,670								
決算額の推移	149,342	1,330,157	3,088,536									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ H28年度は、「展示・ガイダンス棟」の展示基本設計を実施 ・ H29年度は、「展示・ガイダンス棟」の建築基本設計、展示実施設計（その①）、博物館周辺を含む全体設計を実施 ・ H30年度は、「展示・ガイダンス棟」の建築実施設計、展示実施設計（その②）、建設予定地周辺の土木工事を実施 ・ R元年度は、「展示・ガイダンス棟」の建築工事、展示工事、建設予定地周辺の土木工事を実施 ・ R2年度は、「展示・ガイダンス棟」の建築工事、展示工事、建設予定地周辺の土木工事、「調査・研究、収蔵棟」（現資料館の改修）の設計を実施 ・ R3年度は、「展示・ガイダンス棟」の建築工事、展示工事、建設予定地周辺の土木工事、「調査・研究、収蔵棟」（現資料館の改修）工事を実施 											
[成果指標等の推移]												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡資料館 来館者数 (目標)	(70,000)	(90,000)	(45,000)	(100,000)	(200,000)	(200,000)	現資料館来館者数 前年度以上 新博物館来館者数 20万人/年				
	実績	88,460	87,650	21,093								
活動指標	指導実施日数 (目標)	(15)	(15)	(15)	(15)	—	—	専門家からの指導：15回以上/年				
	実績	16	22	31								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実績 「展示・ガイダンス棟」建築工事および展示工事を実施 ・ 外的要因 新型コロナウイルスの影響により、館来館者数が伸び悩んだ ・ R4で事業完了 				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	613,634	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）開館記念事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課		課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題] 全国で唯一、戦国期の城下町がそのまま残る他に類例のない一乗谷朝倉氏遺跡のガイダンス施設として、北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、遺跡の価値や魅力を国内外に強力に発信し、観光誘客につなげる						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡見学者数（観光統計） R元：1,057千人 R2：851千人 R3:567千人									
[事業目的] 令和4年10月の新博物館開館に向けて、日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」を県内外に発信する															
[事業内容] (1) プレ展示 開館までの間、資料館エントランス等を活用して展示を行い、切れ目なく遺跡の魅力を発信する (2) 開館記念式典、記念特別展の開催 開館にあわせ、記念式典や記念特別展を開催する (3) 重点広報事業の実施 開館に向けた機運醸成と情報発信を図るため、積極的な広報活動を展開 (4) 越美北線戦国列車の運行 開館にあわせ、越美北線の車両や駅舎を装飾し、戦国時代の雰囲気味わえる列車を運行させる															
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 21,093人（令和3年度実績）									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「一乗谷ミュージアム」化推進事業 (役割分担) 新博物館の整備を行う							
市町との連携状況	遺跡の魅力発信について、福井市と連携して実施					他県の状況									

一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）開館記念事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					71,876		一乗谷朝倉氏遺跡博物館開館（R4.10）による事業完了					
2月現計予算額の推移					70,015							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡博物館 来館者数	(目標)			(100,000)		(200,000)	(200,000)	新博物館来館者数 20万人/年			
活動指標	特別展の開催	(目標)			(1)		(1)	(1)	特別展を年1回以上開催			
		実績										
		実績										
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
一乗谷朝倉氏遺跡博物館開館（R4.10）による事業完了				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	71,876	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

一乗谷朝倉氏遺跡博物館DX推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課		課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題] 全国で唯一、戦国期の城下町がそのまま残る他に類例のない一乗谷朝倉氏遺跡のガイダンス施設として、北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、遺跡の価値や魅力を国内外に強力に発信し、観光誘客につなげる						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡博物館 令和4年10月開館 (旧資料館見学者数 H30:64千人 R元:88千人 R2:87千人 R3:564千人)									
[事業目的] 世界中のどこからでも一乗谷朝倉氏遺跡の歴史や文化を見て学ぶことができる、ポストコロナに対応するデジタルミュージアムとしての機能を整備し、遺跡観光のゲートウェイとなる新博物館の情報発信力を強化する															
[事業内容] ○県民衛星「すいせん」の衛星データと連動した一乗谷DXマップの開発 「すいせん」のデータやライブカメラを用いた一乗谷DXマップを開発し、環境情報など様々な情報をリアルタイムで提供する															
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 567,482人(令和3年度実績)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「一乗谷ミュージアム」化推進事業 (役割分担) 新博物館の整備を行う							
市町との連携状況	遺跡の魅力発信について、福井市と連携して実施					他県の状況									

一乗谷朝倉氏遺跡博物館DX推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営												
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額													
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					11,099		事業完了						
2月現計予算額の推移					11,099								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡博物館 来館者数	(目標)			(100,000)		(200,000)	(200,000)	新博物館来館者数 20万人/年				
活動指標	HP作成	(目標)			(1)		(1)	(1)	HP作成件数 1件/年				
		実績											
		実績											
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
R4で事業完了				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	11,099		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

フレンドリーアート推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H15 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営			経過年数					20 年			
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
嶺北にある文化施設へ来場しようとする、嶺南在住の方の利便性向上を図ること とで、嶺南・嶺北の文化交流の機会を拡大する。						利用者数 令和2年度 音楽堂行 28名(平均 7名) 文化施設行 33名(平均 5名) コロナによる減便 令和3年度 音楽堂行 22名(平均 5名) 文化施設行 31名(平均 6名) コロナによる減便						
[事業目的]												
嶺北にある文化施設へ来場しようとする、嶺南在住の方の利便性向上を図ることで、嶺南・嶺北の文化交流の機会を拡大する。												
[事業内容]												
嶺南地域の各市町を經由し、各文化施設へ向かう無料送迎バス「フレンドリーアート号」を運行する。 (年間12便)												
(1) 乗降場所(嶺南6市町8か所) ①JR若狭高浜駅(高浜町) ②おおい町役場(おおい町) ③若狭歴史博物館(小浜市) ④上中庁舎(若狭町) ⑤三方庁舎(若狭町) ⑥美浜町役場(美浜町) ⑦敦賀合同庁舎(敦賀市) ⑧JR敦賀駅(敦賀市)												
(2) 訪問文化施設 ①県立音楽堂 ②県立美術館 ③県立歴史博物館 ④一乗谷朝倉氏遺跡資料館 ⑤県立恐竜博物館 など ※人気のある県立音楽堂、恐竜博物館行便は従来通り実施し、その他訪問先文化施設はふくいのミュージアム連携事業の成果を反映												
[受益者] フレンドリーアート号乗車人数						[想定される受益者数] 53人(R3)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

フレンドリーアート推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体		県			事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 H15 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度	
事業実施方法		直営										
補助率												
区分		事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		1,330	1,426	1,283	1,307		関連事業との統合					
2月現計予算額の推移		1,330	1,426	922	965							
決算額の推移		1,096	1,276	893								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ H28年度は、移動美術館のスクラップのため、減額 ・ H29年度は、バス単価増のため、増額 ・ R元年度は、バス定員見直しのため、減額 ・ R2年度は、利用ニーズによりバス運行回数増便 ・ R3年度は、利用者数の減少により減便 										
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	送迎バス利用者数	(目標)	(256)	(256)	(256)	(240)		(240)	音楽堂行(中型6便) 文化施設行(小型4便、中型2便)			
		実績	180	61	53							
活動指標	送迎バス運行台数	(目標)	(14)	(14)	(14)	(12)		(12)	運行台数12台/年			
		実績	10	10	9							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実績 バス利用者 53名(音楽堂行 22名、文化施設行 31名) バス運行台数 10台(音楽堂行 4台、文化施設行 5台) ・ 外的要因 コロナ感染拡大により3台(音楽堂行2台、文化施設行1台)運行中止 ・ R5は関連事業との統合 				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,307	
								<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

若狭歴史博物館嶺南美術展開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題] 嶺南地域には美術館がなく、嶺北と比べると、本物の美術に触れる機会が少ない。						[問題・課題を表す客観的データ] R2「夏休み親子で楽しむ美術館」 入館者数 3,249人 R3「夏休みは博物館で昆虫採集！」 入館者数 3,505人 R4「肉筆浮世絵にみる四季の愉しみ」 入館者数 1,201人									
[事業目的] 若狭歴史博物館において、美術館の企画展レベルの質の高い美術展を開催することで、本物の美術に触れる機会の拡大と嶺南への誘客促進を図る。															
[事業内容] 嶺南美術展の開催 「肉筆浮世絵の世界～今西コレクションより～」(仮称) 内 容 : 夏休み期間に、熊本県立美術館が収蔵する今西コレクションの肉筆浮世絵を中心に展示する。福井では数少ない肉筆浮世絵を嶺南で見ることができる。 開催期間 : 令和4年7月30日(土)～8月28日(日)30日間 会 場 : 若狭歴史博物館 関連事業 : 記念講演、ワークショップ															
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 1,201人(令和4年度実績)									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 嶺南企画展開催事業(美術館) (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

若狭歴史博物館嶺南美術展開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率									□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等]													(単位：千円)	
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				10,541	11,243		他事業との整理により廃止							
2月現計予算額の推移				10,399	7,923									
決算額の推移				10,397										
前年度までの 主な増減理由	令和3年度 美術展の内容に基づく増額													
[成果指標等の推移]														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	美術展観覧者数	(目標)		(4,750)	(4,750)		(4,750)	(4,750)	「肉筆浮世絵の世界～今西コレクションより～」(仮称) 入館者数目標 4,750人					
		実績		3,505	1,201									
活動指標	連携イベント等開催数	(目標)		(3)	(3)		(3)	(3)	・記念講演 ・ワークショップ ・嶺北からのバス運行					
		実績		3	2									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実績 R3「夏休みは博物館で昆虫採集！」 入館者数 3,505人 ・ 外的要因 新型コロナの影響による来館者数の減による目標未達成 ・ 他事業との整理により廃止 				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	11,243			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				